

全国 保健師長会 だより

会長就任の「あいさつ」



前田 香
全国保健師長会 会長

このたび、松本珠実前会長から全国保健師長会の会長を引き継ぎました。福島県保健福祉部健康づくり推進課の前田香と申します。就任に当たりまして、ごあいさつをさせていただきます。

令和6年能登半島地震への お見舞い

このたびの地震でお亡くなりになられた方々に対し、謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し

調査事業」に取り組みました。その結果、統括保健師間のネットワーク構築の成果として、健康危機発生時の迅速な協力の授受や情報共有、平時における人材育成や健康危機の備え等に関する情報共有や検討の推進などが示されました。今年度新たに、全国保健師長会の特別委員会として「統括保健師間のネットワーク推進特別委員会」を設置しました。今後は、本委員会を中心に、継続的で実効性のある統括保健師間のネットワークづくりも進めてまいります。

抱負について

全国保健師長会は、保健師を取り巻く制度の大きな変化を背景に、保健師リーダーが一丸となり地域住民の健康づくりに寄与し、もってわが国の公衆衛生の向上に資することを目的に昭和54年3月に発足いたしました。私といたしまして、初代会長である遠藤セツ氏（福島県）をはじめとする歴代会長が築き上げてこられた会の輪を広げ、つながりを強化することで、地域住民の健康づくりに貢献できるよう、理事・役員、会員の皆さまと共に考え、意見を出し合

新任の「あいさつ」

上げます。また、被災者の健康を守るため、発災直後から健康支援活動に尽力されている多くの仲間たちに深く敬意を表します。

地震発生から3か月が経過しました。しかし、今もなお多くの被災者の方々が避難生活を強いられ、避難生活の長期化によるさまざまな健康への影響が懸念され、健康を守るための対策が重要となっております。

全国保健師長会は、東日本大震災をはじめ、全国各地で発生した大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症対策の経験も生かしながら、被災地における中長期的な保健活動への協力はもとより、被災地の保健師の皆さまが孤独などを感ずることがないよう、情緒的サポートを含めたネットワークづくりも進めていきたいと考えて

い、協力し合いながら取り組んでまいります。

会員の皆さまならびに関係者の皆さま、引き続き、ご支援、ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

副会長就任の「あいさつ」



岡本 理恵
全国保健師長会 副会長

このたび、副会長に就任いたしました名古屋市の岡本理恵と申します。

令和6年能登半島地震により、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。また、被災地域で支援活動に尽力する会員、保健師の皆さまに心から敬意を表します。

改めて、保健師が果たすべき役割の重要性と、地域社会における存在価値がいつそう浮き彫りに

おります。

令和6年度の活動方針

令和6年度は新たな各種保健医療福祉計画が開始され、また、多くの市町村においては、こども家庭センターにおける妊産婦や子ども、子育て家庭に対する支援が開始されるほか、精神保健に課題を抱え、地域で潜在化している「本当は支援を必要としている方」への支援にも対峙することとなります。また、すでに減少に転じている生産年齢人口は、2025年以降さらに減少が見込まれ、高齢化が急速に進む都市部や人口が減少する過疎地など、地域によって抱える課題が異なり、これまで以上に地域の実状に応じた地域保健活動の推進が求められております。

全国保健師長会の今年度の活動方針テーマは、「変わりゆく地域の

なったと感じています。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行され、新型コロナウイルス感染症との共存に向けて新たなフェーズを迎えた1年でした。

国においては、新興・再興感染症等の健康危機発生時に備え、保健・医療提供体制が確保されるよう関連法令の改正が行われ、併せて地域保健法に基づく「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」には、統括保健師等の総合的なマネジメントを担う保健師を配置することが明記されました。これにより、各自自治体での統括保健師の配置の促進および役割発揮がいつそう求められています。

また今年度から、新たな国民健康づくり運動である「健康日本21（第三次）」が始まりました。この新しい施策は、社会環境の質の向上を基盤として、その上で個人の行動と健康状態の改善を通して、最終的に健康寿命の延伸と健康格差の縮小を獲得していこうとするもので、「誰ひとり取り残さない」健康づくりの観点が示されています。まさに、行政で働く保健師が

健康課題に対峙する公衆衛生看護活動の展開（「誰ひとり取り残されない」保健師活動の転換期を仲間とともに乗り越える）です。

活動方針の4つの柱である「地域保健活動の推進にかかるマネジメント機能の発揮に向けた取組の推進」「地域診断と科学的根拠に基づく公衆衛生看護活動及び人材育成の推進」「自治体間のネットワークの構築やブロック、支部における効果的な活動の推進」「地域の公衆衛生看護活動の推進に向けた会からの情報発信の促進」を基に、時代の要請に応える保健師活動を追求し、保健師の未来を見据えて、効果的な保健師人材育成とそれを支える体制の強化、健康格差の解消を目指した保健活動の推進、新たな手法による保健活動の横断的展開を図ってまいります。

また、地域における健康危機事例が頻発している状況において、保健師リーダーのつながりの重要性が増しております。全国保健師長会では、昨年度の地域保健総合推進事業として、「健康危機管理における保健活動を推進する統括保健師間ネットワーク構築に関する

中心となり、関係職種が連携し多種多様なネットワークを構築し、地域住民・関係機関を巻き込んだ健康づくり施策を展開していくとさせていただきます。

コロナ禍を経て、保健師活動にも日常が戻ってきました。この間の経験を踏まえて、従来の手法に固執するのではなく、新しい視点や気付きを取り入れながら、地域住民の健康と安心を守るための保健師活動を展開していくためには、保健師の人材確保はもちろんですが、人材の定着と効果的な人材育成が不可欠だと考えます。

全国の仲間がさまざまな知見や経験を共有し、共に学び合う機会を増やしていくことで、全国の保健師が連携し、より強固なネットワークを築いていくことができましたらと考えています。全国の保健師がこれからも誇りと自信を持って生き生きと活動できるよう、副会長として微力ながら精いっぱい努力してまいります。

会員の皆さまのご指導、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしく申し上げます。